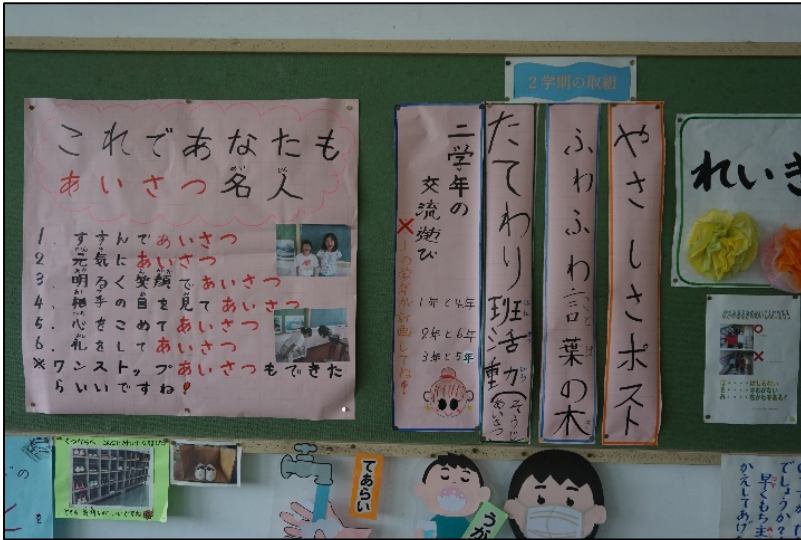




学校教育目標

喜んで登校し
生き生きと学び 活動し
満足して下校する 学校の創造

子供の心の環境



左の写真は、11月現在の児童玄関掲示板の様子です。掲示板にも貼ってありますが、小学校ではよく「ふわふわ言葉」それから「ちくちく言葉」という表現を使います。

人の欠点や悪口、皮肉(ちくちく言葉)などを言っている環境に育つと、人のあら探しや悪口を平気で言う人になると言います。

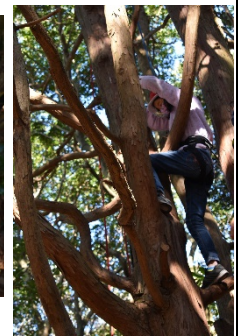
一方、人の良いところ、一生懸命にやっていること、やろうとしていることを努めて褒める(ふわふわ言葉)環境では、良いところや良いことを認め、人を尊敬することが身に付くことでしょう。

親をほめる子になるか、親の悪口を言う子になるか、「ほめたことも、しかったことも、やがてはすべて我が身に返る。」としたら、末恐ろしいことです。子供の心の環境、言葉の環境の第一は、家庭の人つまり家族です。そして、学校の人つまり先生と友達です。

子供の心の環境を整えるために、家庭でも学校でも、言葉の使い方を意識していきたいものです。

5年生宿泊学習

11月11日(水)～12日(木)の2日間、5年生が西彼青年の家にて、宿泊学習を行いました。気温がぐっと下がった時期と重なり、寒さが心配でしたが、子供達は元気に、自然との触れ合いを楽しみました。教頭先生も引率をしてくださいましたが、活動班で協力して、一所懸命活動することができたとのことでした。



フラワーアレンジメントの展示

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、お花の国内消費が減退しているそうです。そこで、長崎花き振興協議会より、フラワーアレンジメント展示の依頼がありました。この取組により、県内の小学生に対し、県産花に触れる機会を創出し、「花育」活動の一助にして欲しいとのことでした。本校にも10月から素晴らしいフラワーアレンジメントが届いています。子供達と共に楽しみにしています。

